

登録コード	E9110303	開講年度	2026					
授業科目	心理支援演習ⅠD					担当教員	高橋 知音	
英文授業名	Seminar in Psychological SupportⅠD					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生		
講義室	教育N319			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観をもち、心理支援に関する研究を計画することができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能として、最新の研究成果を学術論文から読み取ることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	データベース検索を行い、発達障害を中心とした心理学領域の研究の最新の動向をつかむ。論文を読み、まとめて発表する。							
(5)授業計画	第1週 オリエンテーション・文献検索の方法 第2週 読み書き障害 第3週 音韻意識 第4週 視空間認知 第5週 算数障害 第6週 発達性協調運動障害 第7週 ADHD 第8週 不注意 第9週 多動性 第10週 衝動性 第11週 自閉症スペクトラム障害 第12週 アスペルガー障害 第13週 想像力の障害 第14週 こだわり 教育実習による欠席分については、授業内容に応じて適宜指示をします。 授業最終回に授業アンケートを実施します。							
(6)成績評価の方法	・英語論文の読解スキルを測るための論文のまとめと発表 80% ・英語論文のスタイルやその内容について理解を深めるためのディスカッションへの積極的参加 20% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可							
(7)成績評価の基準	・英語の論文の内容をしっかりと理解すること、その内容を他の受講生にわかりやすく伝えられるよう説明でき、他の受講生からの質問に答えられ、他の受講生が発表しているときにはそれに対し質問やコメントができたなら「卓越している」、一部に不十分な点があるだけなら「かなり上にある」、いくつかの部分に不十分な点があれば「やや上にある」、いずれも不十分な点を残しつつもすべての課題をこなすことができれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	受講生は、授業の前に担当論文を読み、要点と疑問点をまとめた資料を作成する。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(9)履修上の注意	特になし							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	高橋知音研究室 (N317) オフィスアワー e-mail:tomonet@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しない							
【参考文献】	授業内で指示する。							